

DB *port*TM SE

スタンダード・エディション

トライアル版

セットアップマニュアル

NJK 株式会社 エヌジェーケー
CORPORATION

- ・ このソフトウェアの著作権は、株式会社エヌジェーケーにあります。
- ・ このソフトウェアおよびマニュアルの一部または全部を無断で使用、複製することは法律で禁止されています。
- ・ このソフトウェアおよびマニュアルを運用した結果の影響については、一切責任を負いかねますのでご了承ください。
- ・ このソフトウェアの仕様およびマニュアルに記載されている事項は、将来予告なしに変更することがあります。
- ・ このマニュアルで使用している画像には、開発中のもも含まれます。実際の製品と異なる場合がございますことをご了承ください。

DBport(デービーポート)は、株式会社エヌジェーケーの商標です。

DataNature(データネチャー)は、株式会社エヌジェーケーの登録商標です。

その他の商品名は、一般に各社の商標または登録商標です。

CONTENTS

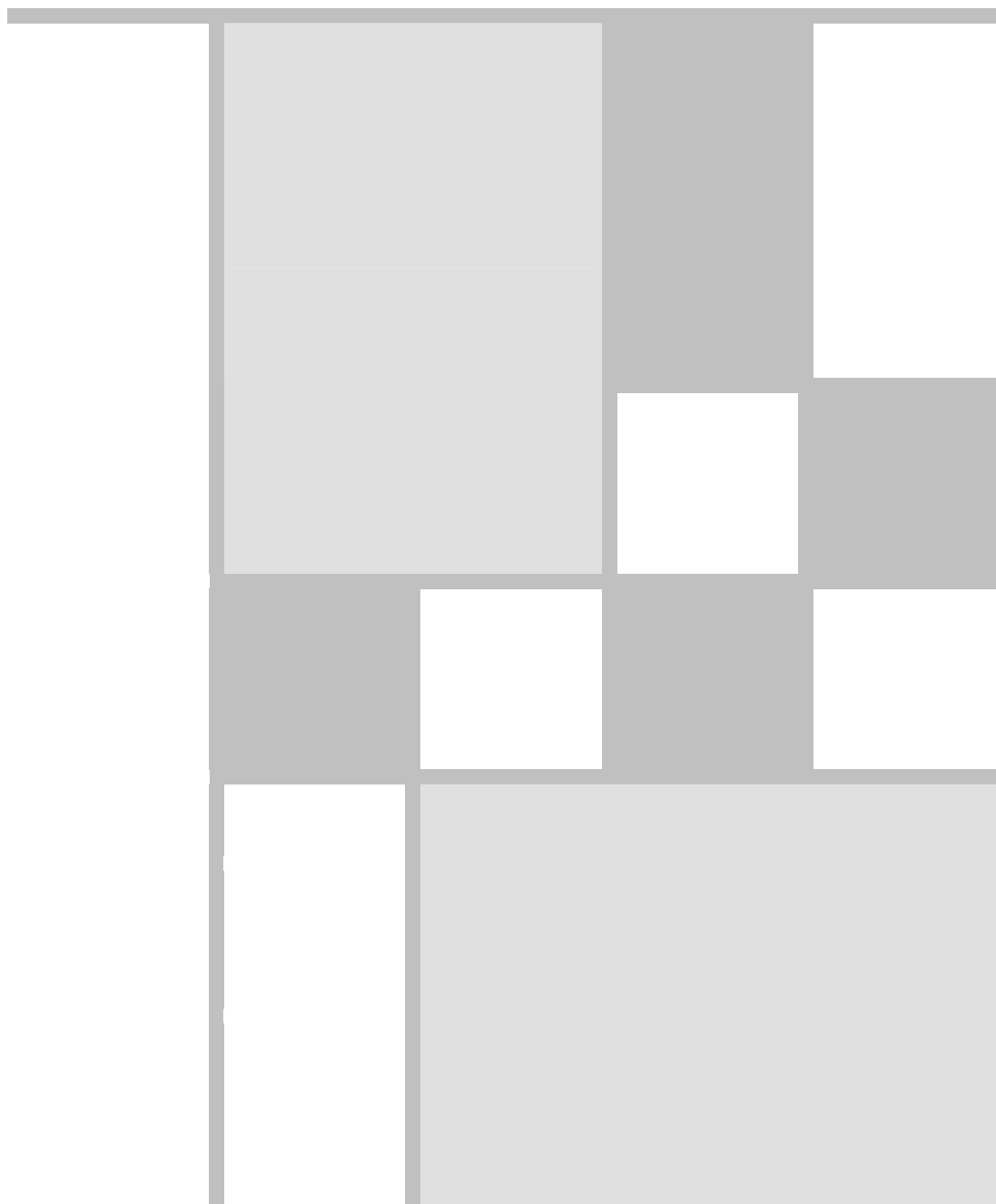
第I章	導入にあたって (必ずお読みください)	1
1	はじめに	2
1-1	DBportSE トライアル版ご使用の注意	2
1-2	マニュアルの構成	2
1-3	マニュアルの表記	2
2	製品構成と必要なシステム環境	4
2-1	DBportSE の製品構成と機能	4
2-2	必要なシステム環境	5
2-3	インストール後のフォルダ構成について	6
第II章	インストールとアンインストール	7
1	プログラムのインストール	8
1-1	DBportSE Personal モードのインストールと起動確認	9
	DBportSE Personal のインストール	9
	DBportSE Personal の起動確認	11
1-2	DBportSE Server/Client モード	
	Server のインストールと初期設定	12
	DBportSE サーバーのインストール	12
	DBportSE サーバーの初期設定	14
1-3	DBportSE Server/Client モード	
	Client のインストールと初期設定	16
	DBportSE クライアントのインストール	16
	DBportSE クライアントの初期設定	18
2	プログラムのアンインストール	20

DBportTMSE



導入にあたって

(必ずお読みください)



DB *port* TM **SE**

1. はじめに

1-1 DBportSE トライアル版ご使用の注意

トライアル版は、インストール後 30 日間ご利用いただけます。試用期限が終了すると「試用期限が切れました」とのメッセージが表示され、ご利用いただくことができなくなります。

試用期限が終了すると、トライアル版をアンインストールして再度インストールしてもご利用いただくことはできません。なお、既に DBportSE 製品版がインストールされている環境には、トライアル版をインストールすることはできません。また、製品版を購入してインストールする場合は、必ずトライアル版を事前にアンインストールする必要があります。

トライアル版のご使用方法に関するお問い合わせは、お受けすることができません、本マニュアル、および、ヘルプにてご確認ください。

但し、インストールトラブルについては、メールにて対応させていただきます。下記のアドレスまでご連絡ください。

DataNature@njkc.co.jp

なお、トライアル版で発生した不具合は、保証の限りではございません。あらかじめご了承ください。

1-2 マニュアルの構成

DBportSE のマニュアルは、次の 2 冊で構成されています。

■ インストールマニュアル(本書)

インストール方法、および、DBportSE を使用するための初期設定について記載されています。

■ DBportSE 入門マニュアル(PDFファイル)^{※1}

DBportSE を初めて利用される方、利用されて間もない方のための入門書です。

DBportSE をインストールされたパーソナルコンピュータ(以降、PC)で、[スタート]-[プログラム]-[DataNature シリーズ トライアル版]-[DBportSE]-[DBportSE 入門マニュアル.pdf]から起動してください。

^{※1}: 印刷物としてのご提供はございませんので、必要に応じてプリントアウトしてご利用ください。

※: ダイアログボックスなど、個別の機能の使い方の詳細については、オンラインヘルプをご参照ください。

1-3 マニュアルの表記

■ 画面に表示されるコマンド名などの文字





コマンド名やダイアログボックス名など、画面上の固有の文字は [] で囲んで表記します。なお、ユーザーによって異なるデータボタンは < > で囲んで表記します。

【例】

[編集]コマンド、[検索]ダイアログボックス

<大阪営業所>データボタン

■ マニュアルで使用しているアイコン

	“注意”を意味します。 知っておくべき重要な事柄や行なってはならない操作など、注意すべきことについて記載されています。
	“参考”を意味します。 知っておくと便利な操作や内容などのノウハウについて記載されています。
	“ポイント”を意味します。 操作や内容のポイントとなる事柄について記載されています。
	“参照”を意味します。 操作や内容に関連するマニュアルの参照ページについて記載されています。

■ マニュアルで使用している画像について

マニュアルで使用している画像には、開発中のもも含まれます。実際の製品と異なる場合がございますことをご了承ください。

2. 製品構成と必要なシステム環境

2-1 DBportSE の製品構成と機能

DBportSE には、“Server/Client モード” と “Personal モード” の 2 種類のインストールモードがあります。活用目的や環境により、どちらかのインストール方法を選択します。

■ Server/Client モード

DBportSE を複数ライセンス導入した場合で、抽出条件やその他設定を共有して活用したい場合にインストールするプログラムです。

Server/Client モードには、“DBportSE クライアント” と “DBportSE サーバー” の 2 つのプログラムがあります。DBportSE サーバーでは、DBportSE クライアントからの要求の受付や管理を、LAN のプロトコル TCP/IP の通信で行ないます。DBportSE クライアントでは、実際にデータソースからデータを抽出したり、その条件定義を行ないます。また、“SUPER ユーザー”で DBportSE クライアントにログオンした場合には、ユーザーやグループの登録/管理や、データソースのアクセス権の設定などが行なえます。

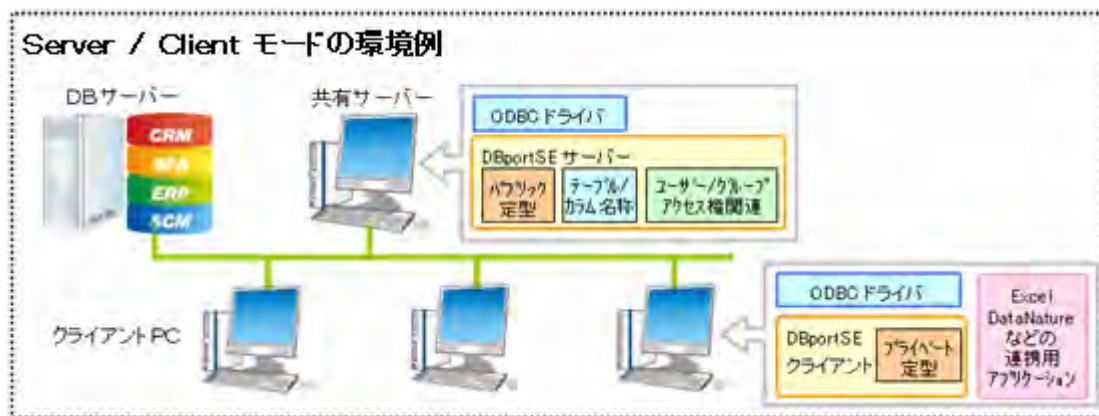
DBportSE クライアントは、使用するすべての PC へインストールします。DBportSE サーバーは、同一ネットワークの中で 1 台の PC のみにインストールします。また、DBportSE サーバーと DBportSE クライアントを同じ PC へインストールすることも可能です。



SUPER ユーザーとは

DBportSE クライアントにログオンするために、既定値として準備されている特別なユーザーで、DBportSE をはじめて起動する場合は、ユーザー名“SUPER”、パスワード“SUPER”(大文字)でログオンします。

また、SUPER ユーザーでログオンした場合にのみ、ユーザーの管理やデータソース管理機能を利用することができます。なお、セキュリティのため、はじめにログオンしたときに、ユーザー名“SUPER”のパスワードを変更して活用ください。



■ Personal モード

DBportSE を単独で活用する場合にインストールするプログラムです。使用する全ての PC へインストールします。

機能は Server/Client モードの“DBportSE クライアント”と同じですが、ユーザーやグループの管理やデータソースのアクセス権設定はできません。



■ DBportSE の機能

DBportSE の機能は大きく、ユーザーやグループの管理、データソースの管理を行なう“管理機能”と、実際にRDBからデータを抽出するための条件定義を行なう“抽出機能”に分類されます。インストールモードにより、利用できる機能が異なりますのでご注意ください。

分類	機能	概要	Personalモード	Server/Clientモード
管理機能	データソース管理	テーブル/カラムのアクセス権設定	×	○※
		テーブル/カラムの名称設定	○	○※
	ユーザー名設定	×	○※	
	グループ設定	×	○※	
抽出機能	読み込み仕様定義	データソースから必要なデータを抽出するための条件定義を行ないます。テーブル/カラムの選択、JOINの設定、選択条件の定義、グループ集計、並べ替えなどの機能があります。また、設定した抽出条件を保存し、定型化して利用したり、自動実行用のファイルに保存することも可能です。	○	○

※：“SUPERユーザー”でログオンした場合のみ利用できます。

2-2 必要なシステム環境

DBportSE が動作するために必要なハードウェアおよびソフトウェア環境は以下のとおりです。

OS	Windows 2000 / Windows XP / Windows Vista※
メモリ	128MB 以上(推奨 512MB 以上)
HD 容量	50MB 以上の空き容量(インストール時)
解像度	1,024x768ドット 以上
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・ LAN 環境(TCP/IP)が別途必要です。 ・ リレーショナルデータベース(RDB)に対応した ODBC ドライバ(Ver.2.0 以上)が別途必要です。

※:Windows VistaはDBportSEサーバーを除きます。

2-3 インストール後のフォルダ構成について

インストール完了後、次のフォルダが自動的に作成されます。



インストールプログラムや DBportSE の機能以外で、以下のフォルダの移動や変更を行なった場合、動作保障できませんのでご注意ください。

■ Server/Client モード

▼DBportSE クライアント

C:\Program Files\DBport SE\DBport SE Client ^{※1}	
DBportSE クライアントの動作に必要なファイルの格納先です。	
¥Sample ^{※1}	サンプルデータの格納先フォルダです。
C:\Documents and Settings ¥My Documents\DBport SE¥Client ^{※2}	
DBportSE クライアントの定義情報の格納先です。DBportSE クライアントをはじめて起動したときに作成されます。	
¥private ^{※2}	プライベート情報定義ファイルとログファイルの格納先です。

※1: インストーラーで設定する初期値です。インストール時に編集された場合はフォルダ構成が異なります。

※2: DBportSE管理ツールで設定する初期値です。DBportSE管理ツールで編集された場合はフォルダ構成が異なります。

Windows Vistaでは、初期値が「C:\Users¥ログオンユーザー名\Documents\DBport SE¥CLIENT¥private」となります。

▼DBportSE サーバー

C:\Program Files\DBport SE\DBport SE Server ^{※1}	
DBportSE サーバーの動作に必要なファイルの格納先です。	
¥DDBDAT ^{※3}	データソース管理、ユーザー名設定、グループ設定に関するファイルの格納先です。DBportSE サーバーをはじめて起動したときに作成されます。
¥log ^{※3}	ログファイルの格納先です。DBportSE サーバーをはじめて起動したときに作成されます。

※1: インストーラーで設定する初期値です。インストール時に編集された場合はフォルダ構成が異なります。

※3: DBportSEサーバー管理ツールで設定する初期値です。DBportSEサーバー管理ツールで編集された場合はフォルダ構成が異なります。

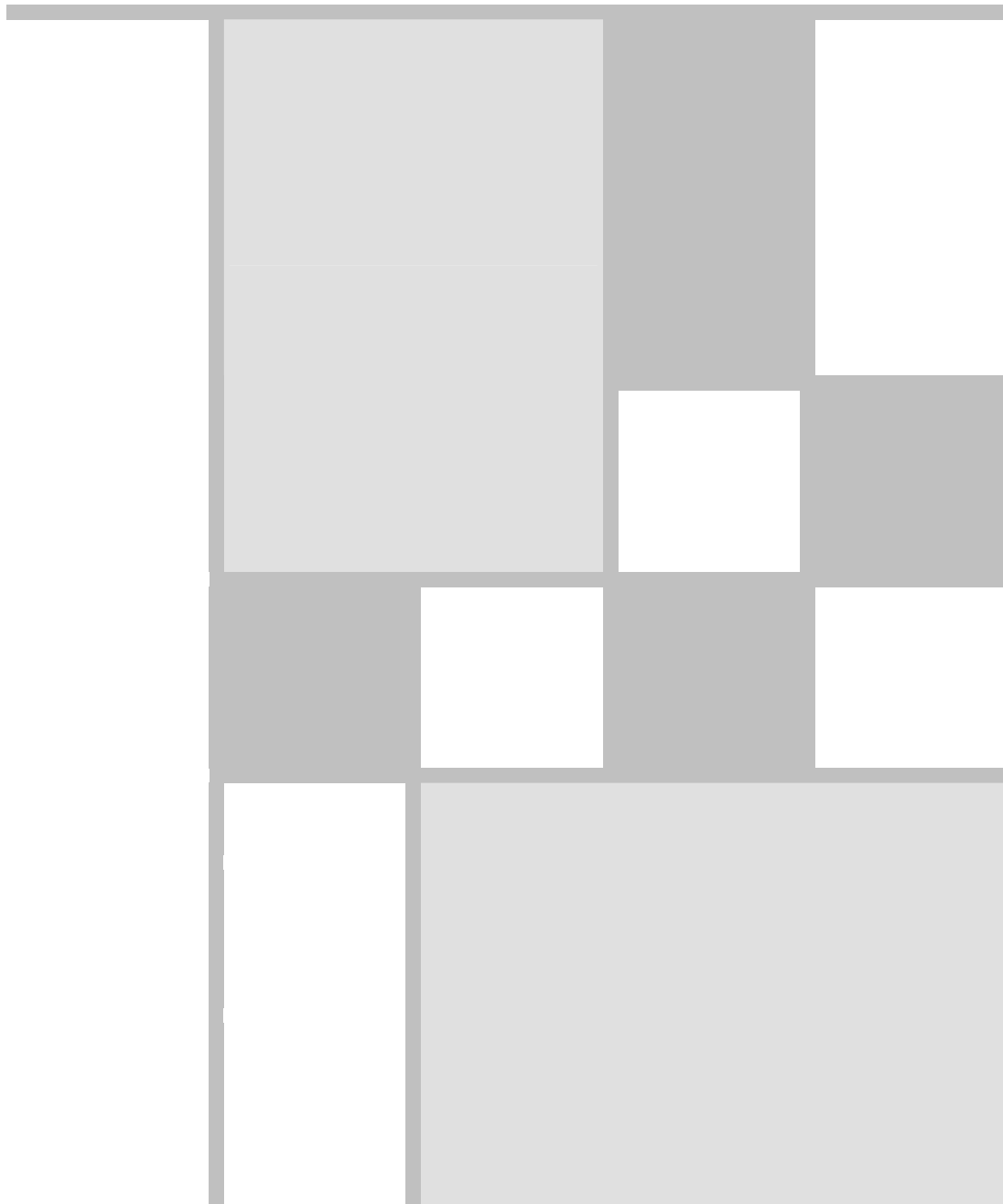
■ Personal モード

C:\Program Files\DBport SE\DBport SE Personal ^{※1}	
DBportSE の動作に必要なファイルの格納先です。	
¥Sample ^{※1}	サンプルデータの格納先フォルダです。
C:\Documents and Settings ¥My Documents\DBport SE¥Personal ^{※2}	
DBportSE の定義情報の格納先です。DBportSE をはじめて起動したときに作成されます。	
¥private ^{※2}	プライベート情報定義ファイルとログファイルの格納先です。
¥Server ^{※2}	データソース管理情報(テーブル/カラム名の変更情報)の格納先フォルダです。

※1: インストーラーで設定する初期値です。インストール時に編集された場合はフォルダ構成が異なります。

※2: Windows Vistaでは、「C:\Users¥ログオンユーザー名\Documents\DBport SE¥Personal」となります。

インストールと アンインストール



DB *port* **SE**TM

1. プログラムのインストール

DBportSE のインストールは以下の手順で行ないます。



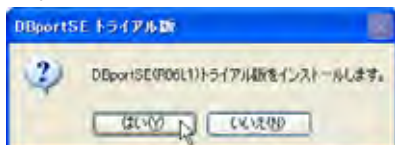
インストールから初期設定までは、Administrator 権限のあるユーザーで行なってください。

- 1 Web サイトからダウンロードした、DBportSE トライアル版のインストール用ファイルを起動します。



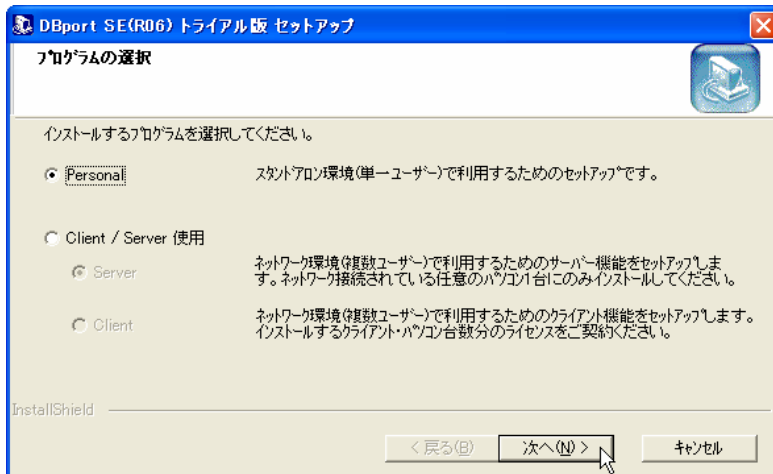
Web サイトからトライアル版をダウンロードされる際に、ファイルを保存せずに直接実行する方法を選択した場合には、ダウンロードが終了するとすぐに以下のメッセージボックスが表示されます。

▼[DBportSE トライアル版]のメッセージボックスが表示されます。



- 2 インストールを行なう場合は[はい]ボタンをクリックします。

▼プログラムの選択ダイアログボックスが表示されます。



- 3 インストールするプログラムをチェックして選択します。



ここから先の手順については、選択されたプログラムにより異なります。以下のページを参照ください。

- Personal: P.9 「1-1 DBportSE Personal モードのインストールと起動確認」
 - Server: P.12 「1-2 DBportSE Server/Client モード Server のインストールと初期設定」
 - Client: P.16 「1-3 DBportSE Server/Client モード Client のインストールと初期設定」
- なお、Server/Client モードと Personal モードについては、P.4 「2-1 DBportSE 製品構成と機能」を参照ください。

1-1 DBportSE Personal モード のインストールと起動確認

DBportSE を Personal モードでインストールします。インストールは、次の手順で行ないます。



インストールから起動確認までは、Administrator 権限のあるユーザーで行なってください。

- DBportSE Personal のセットアッププログラムが起動しますので、[次へ] ボタンをクリックします。
● [キャンセル] ボタンをクリックすれば、インストールを中止します。



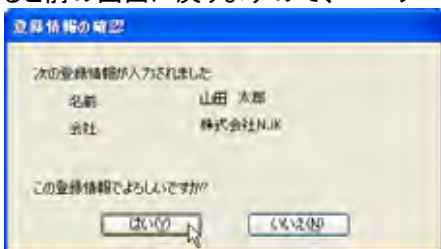
- ソフトウェア使用許諾についての説明です。よくお読みの上、同意される場合にのみ [はい] ボタンをクリックしてください。
同意できない場合は、[いいえ] ボタンをクリックしてください。インストールを中止します。



- ユーザー情報を入力します。すべての情報が入力されると [次へ] ボタンが有効になりますので、クリックして次に進みます。



- 6 入力情報の確認ダイアログボックスです。OK の場合は[はい]をクリックしてください。[いいえ]をクリックすると前の画面に戻りますので、ユーザー情報を修正してください。



- 7 インストールフォルダを指定します。標準のインストール先は『C:\Program Files\DBport SE\DBport SE Personal』になっています。標準設定で構わない場合は[次へ]ボタンをクリックして次に進みます。フォルダを変更したい場合は、[参照]ボタンで任意のフォルダに変更してから[次へ]ボタンをクリックします。

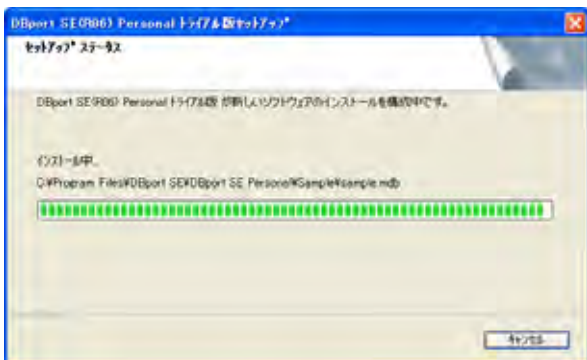


任意のフォルダ名称には、半角文字を使ってください。全角英数字を使用した場合、プログラムが正常に動作しないことがありますのでご注意ください。

- 8 ファイルコピーの開始画面で現在の設定内容を確認し、よろしければ[次へ]ボタンをクリックします。必要なファイル類のコピーが開始されます。



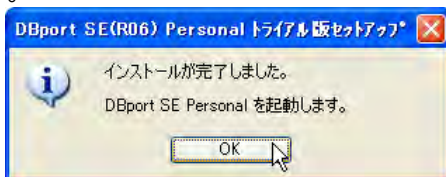
▼コピーの進行状況を示すダイアログボックスです。



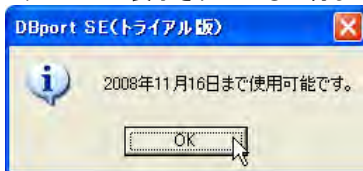
- 9 インストールが終了しました。[完了]ボタンをクリックしてインストールを完了します。



- 10 続いて、DBportSE Personal 起動のメッセージボックスが表示されますので、[OK]ボタンをクリックします。



- ▼トライアル版の試用期限をお知らせするメッセージボックスが表示されます。メッセージに表示されている日付までご試用になれます。



- 11 [OK]ボタンをクリックします。

- ▼DBportSE Personal が起動します。
以上で、起動確認は完了です。



DBportSE クライアントの基本的な使い方については、「DBportSE 入門マニュアル」をご覧ください。
なお、マニュアルは、DBportSE をインストールされた PC の、[スタート]-[プログラム]-[DataNature シリーズトライアル版]-[DBport SE]-[DBportSE 入門マニュアル.pdf]から呼び出します。

1-2 DBportSE Server/Client モード Server のインストールと初期設定

DBportSEをServer/Clientモードで活用するために、DBportSEサーバーをインストールします。DBportSEサーバーは、同一ネットワークの中で、1台のPCのみにインストールして使用します。インストールと初期設定は、次の手順で行ないます。



インストールから初期設定までは、Administrator 権限のあるユーザーで行なってください。

4 DBportSE Server のセットアッププログラムが起動しますので、[次へ] ボタンをクリックします。

● [キャンセル] ボタンをクリックすれば、インストールを中止します。



5 ソフトウェア使用許諾についての説明です。よくお読みの上、同意される場合にのみ [はい] ボタンをクリックしてください。

同意できない場合は、[いいえ] ボタンをクリックしてください。インストールを中止します。

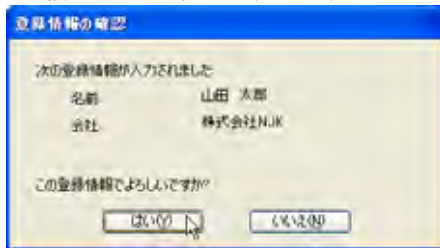


6 ユーザー情報を入力します。

すべての情報が入力されると [次へ] ボタンが有効になりますので、クリックして次に進みます。



- 7 入力情報の確認ダイアログボックスです。OK の場合は[はい]をクリックしてください。[いいえ]をクリックすると前の画面に戻りますので、ユーザー情報を修正してください。



- 8 インストールフォルダを指定します。
標準のインストール先は『C:\Program Files\DBport SE\DBport SE Server』になっています。標準設定で構わない場合は[次へ]ボタンをクリックして次に進みます。フォルダを変更したい場合は、[参照]ボタンで任意のフォルダに変更してから[次へ]ボタンをクリックします。



任意のフォルダ名称には半角文字を使ってください。全角英数字を使用した場合、プログラムが正常に動作しないことがありますのでご注意ください。

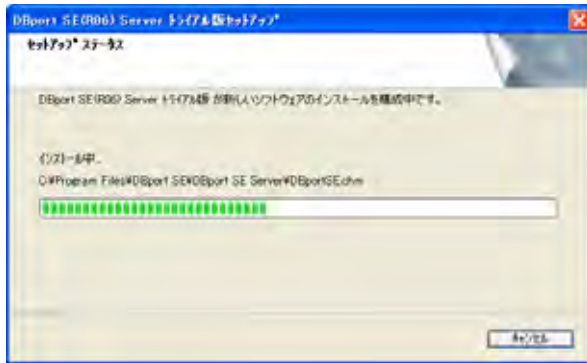
- 9 DBportSE サーバーのオプションを指定します。
DBportSE サーバーを自動起動する場合には、チェックボックスにチェックオンし、[次へ]ボタンをクリックします。
自動起動するにチェックオンした場合には、Windows が起動したと同時に、自動的にDBportSE サーバーを起動し、稼働状態とします。



- 10 ファイルコピーの開始画面で現在の設定内容を確認し、よろしければ[次へ]ボタンをクリックします。必要なファイル類のコピーが開始されます。



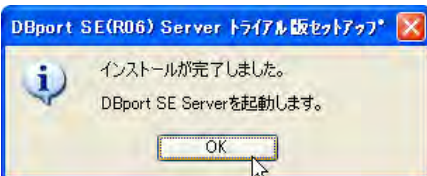
▼コピーの進行状況を示すダイアログボックスです。



- 11 インストールが終了しました。[完了]ボタンをクリックしてインストールを完了します。



- 12 続いて、DBportSE Server 起動のメッセージボックスが表示されますので、[OK]ボタンをクリックします。



▼[DBportSE サーバー]画面が表示されますので、初期設定を行ないます。



- 13 メニューバー[環境設定]をクリックします。

▼[DBportSE 環境設定]のダイアログボックスが表示されます。



- 14 ポート番号を指定します。
標準では、“4000”となっていますので、必要に応じて直接枠内に入力して編集してください。



ここで設定したポート番号は、Windowsのファイアウォールの例外に追加する必要があります。例外に設定するには、[コントロールパネル]-[Windowsファイアウォール]をクリックして表示される[Windowsファイアウォール]ダイアログボックスの[例外]タブにある[ポートの追加(Q)]ボタンから行ないます。

- 15 次に、パブリック定義情報フォルダを指定します。
標準では「C:\Program Files\DBport SE\DBport SE Server¥」となっていますので、必要に応じて[参照]ボタンをクリックして表示される[フォルダの参照]ダイアログボックスで、任意のフォルダを指定します。



パブリック定義情報フォルダ

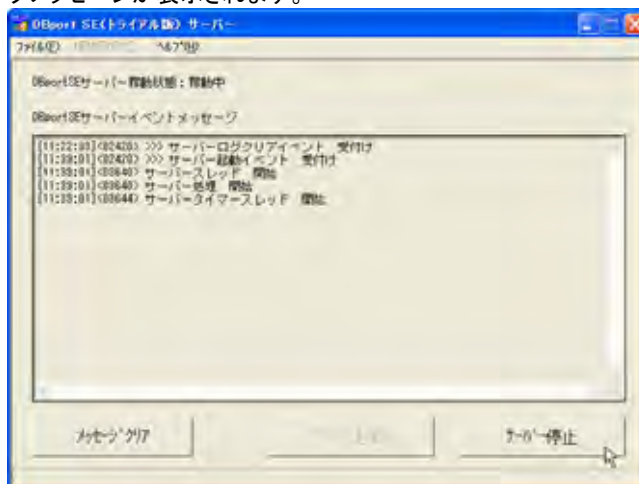
管理機能で設定する各種情報(データソース管理、ユーザー名設定、グループ設定)や、全ての利用者が定型読み込みで使用できる読み込み仕様定義を保存するフォルダです。

- 16 設定が完了したら、[OK]ボタンをクリックして[DBportSE 環境設定]ダイアログボックスを閉じます。

- 17 DBportSE クライアントを利用するためには、サーバーを稼働状態にする必要があります。

[サーバー起動]ボタンをクリックして、サーバーを稼働中にします。

▼[DBportSE サーバー稼働状態]が“稼働中”の表示に切り替わり、[DBportSE サーバーイベントメッセージ]欄にログメッセージが表示されます。



DBportSE サーバーを停止させる場合には、必ず事前に DBportSE クライアントを使用中のユーザーがいらないことを確認してください。

なお、DBportSE サーバーを終了するには、DBportSE サーバーを停止しておく必要があります。

以上で、初期設定は完了です。

1-3 DBportSE Server/Client モード Client のインストールと初期設定

DBportSE を Server/Client モードで活用するために、DBportSE クライアントをインストールします。DBportSE クライアントは、使用する全ての PC へインストールします。インストールは、次の手順で行ないます。

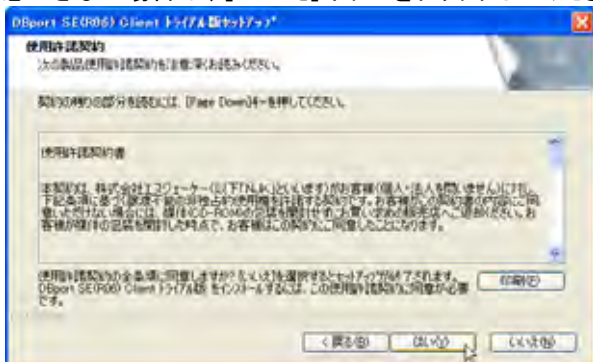


インストールから初期設定までは、Administrator 権限のあるユーザーで行なってください。
 なお、DBportSE クライアントの初期設定には、DBportSE サーバーの初期設定が完了している必要があります。はじめに、DBportSE サーバーのインストールと初期設定を行なってください。

- DBportSE Client のセットアッププログラムが起動しますので、[次へ]ボタンをクリックします。
 ●[キャンセル]ボタンをクリックすれば、インストールを中止します。



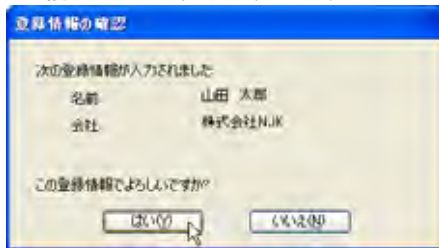
- ソフトウェア使用許諾についての説明です。よくお読みの上、同意される場合にのみ[はい]ボタンをクリックしてください。
 同意できない場合は、[いいえ]ボタンをクリックしてください。インストールを中止します。



- ユーザー情報を入力します。
 すべての情報が入力されると[次へ]ボタンが有効になりますので、クリックして次に進みます。



- 6 入力情報の確認ダイアログボックスです。OK の場合は[はい]をクリックしてください。[いいえ]をクリックすると前の画面に戻りますので、ユーザー情報を修正してください。



- 7 インストールフォルダを指定します。
標準のインストール先は『C:\Program Files\DBport SE\DBport SE Client』になっています。
標準設定で構わない場合は[次へ]ボタンをクリックして次に進みます。フォルダを変更したい場合は、[参照]ボタンで任意のフォルダに変更してから[次へ]ボタンをクリックします。

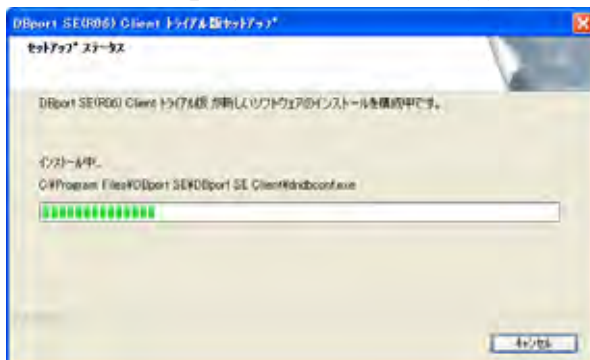


任意のフォルダ名称には半角文字を使ってください。全角英数字を使用した場合、プログラムが正常に動作しないことがありますのでご注意ください。

- 8 ファイルコピーの開始画面で現在の設定内容を確認し、よろしければ[次へ]ボタンをクリックします。必要なファイル類のコピーが開始されます。



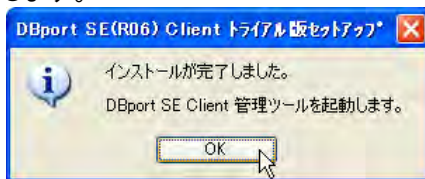
▼コピーの進行状況を示すダイアログボックスです。



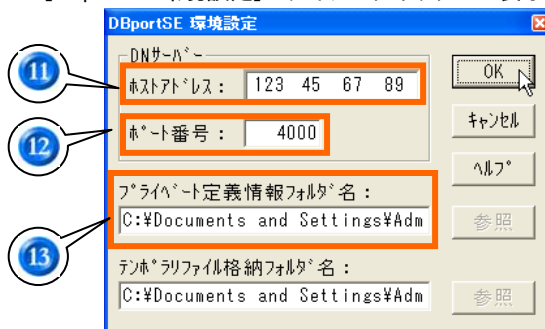
- 9 インストールが終了しました。[完了]ボタンをクリックしてインストールを完了します。



- 10 続いて、DBportSE Client 管理ツール起動のメッセージボックスが表示されますので、[OK]ボタンをクリックします。



▼[DBportSE 環境設定]のダイアログボックスが表示されます。



- 11 ホストアドレスを指定します。
DBportSE サーバーをインストールした PC の IP アドレスを直接枠内に入力してください。
- 12 次に、ポート番号を指定します。
DBportSE サーバー管理ツールで設定したポート番号を直接枠内に入力してください。
- 13 続いて、プライベート定義情報フォルダを指定します。
標準では「C:\Documents and Settings\My Documents\DBport SE\CLIENT\private\」(Windows Vista の場合は「C:\Users\ログオンユーザー名\ Documents\DBport SE\CLIENT\private\」)となっていますので、必要に応じて[参照]ボタンをクリックして表示される[フォルダの参照]ダイアログボックスで、任意のフォルダを指定します。



プライベート定義情報フォルダ

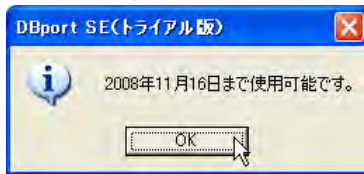
DBportSE クライアントをインストールした PC で使用できる読み込み仕様を保存するためフォルダです。

- 14 設定が完了したら、[OK]ボタンをクリックして[DBportSE 環境設定]ダイアログボックスを閉じます。
- 15 次に、[スタート]メニューの[プログラム]から、[DataNature シリーズトライアル版]-[DBport SE]-[Client]-[DBport SE クライアント]をクリックして起動します。



Windows Vista でご利用の場合は、上記の[DBportSE クライアント]上で右クリックして表示されるメニューで[管理者として実行]から初期設定を行なう必要があります。ご注意ください。

- ▼トライアル版の試用期限をお知らせするメッセージボックスが表示されます。
メッセージに表示されている日付までご試用になれます。



- 16 [OK]ボタンをクリックします。

- ▼DBportSE クライアントが起動し、ユーザー名/パスワードを入力する[外部データ読み込みログオン]ダイアログボックスが表示されます。



はじめて DBportSE クライアントを起動した場合は、ユーザー名“SUPER”、パスワード“SUPER”でログオンします。ユーザー名は大文字固定入力ですが、パスワードは、大文字/小文字が区別されますので、必ず大文字で入力してください。なお、事前に管理者によってパスワードの変更が行なわれている場合もあります。ログオンできない場合は、ユーザー名/パスワードを管理者へご確認ください。

以上で、初期設定は完了です。



DBportSE クライアントの基本的な使い方については、「DBportSE 入門マニュアル」をご覧ください。
なお、マニュアルは、DBportSE クライアントをインストールされた PC の、[スタート]-[プログラム]- [DataNature シリーズトライアル版]-[DBport SE]-[DBportSE 入門マニュアル.pdf]から呼び出します。

2. プログラムのアンインストール

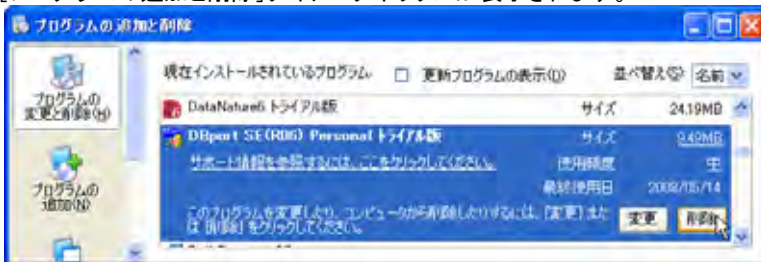
DBportSE をアンインストールします



DBportSE インストール時にセットアップされる専用のアンインストールプログラムを使って、DBportSE を削除します。アンインストールプログラムを使わずに、インストールされたファイルを削除するなどの方法をとると、その後のPCの動作は保証されませんのでご注意ください。
 なお、アンインストールは Administrator 権限のあるユーザーで行なってください。

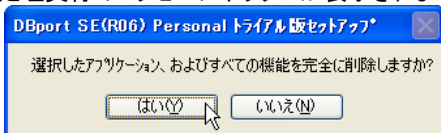
- 1 [スタート] – [設定] – [コントロールパネル] をクリックして、コントロールパネルの [プログラムの追加と削除] アイコンをダブルクリックします。

▼ [プログラムの追加と削除] ダイアログボックスが表示されます。



- 2 [プログラムの変更と削除] 画面で、アンインストールしたい対象のプログラムを選択します。

- [DBport SE Personal]
DBportSE Personal をアンインストールします。
 - [DBport SE Server]
DBportSE Server をアンインストールします。
 - [DBport SE Client]
DBportSE Client をアンインストールします。
- ▼ 処理実行のメッセージボックスが表示されます。



- 3 [はい] をクリックして実行します。

▼ 処理実行のメッセージボックスが表示されます。



- 4 [完了] ボタンをクリックして、アンインストールを終了します。

DBportSE トライアル版 セットアップマニュアル

2008年10月 第2版 第1刷発行

Copyright 1996-2008 NJK CORPORATION

発行 **株式会社エヌジェーケー**

〒153-8641 東京都目黒区中目黒 4-8-2

T E L 03-5722-5766

F A X 03-5722-5767

U R L <http://www.njk.co.jp/datanature/>

E-mail DataNature@njk.co.jp

無断転載を禁じます。なお、本書の内容を断りなく変更することがあります。